

けれどもほんとうのさいわいは
一体なんだろう。
僕わからない。



劇団こぶく劇場 プロデュース公演 #31 わたしの文庫シリーズ vol.1

わたしの「銀河鉄道の夜」

原作 宮沢賢治 / 作・演出 池田美樹 (劇団きらら)

宮崎 / 2025年2月14日(金) - 16日(日)

三股町立文化会館

広島 / 2025年3月8日(土) - 9日(日)

山小屋シアター

わたしの「銀河鉄道の夜」

劇団 35 年目の新シリーズは、近現代の男性作家が書いた文学作品を、現代の女性劇作家・演出家が読み直す企画。その第 1 弾として、長年、九州の演劇界をリードしてきた、熊本の劇団きららの池田美樹氏を演出に迎え、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を読み直し、現代の「ほんとうのしあわせ」を考える旅に出たいと思います。

原作 宮沢賢治

作・演出 池田美樹(劇団きらら)

チェロ演奏 浜砂なぎさ

音楽 浜砂なぎさ

美術 濱沙杲宏

照明 川田京子(ユニークブレーション)

音響 田尻穰

衣裳 池田美樹(劇団きらら)

宣伝美術・写真 グンジキナミ

制作 有村香澄・高橋知美(キューズリンク)

一般社団法人舞台芸術制作室無色透明(広島公演)

芸術監督 永山智行

貧しい少年ジョバンニは、幼なじみのカムパネルラと銀河鉄道に乗って旅をする……

野辺智聖
(サラみやざき)



日高啓介



小林冴季子
(舞台芸術制作室 無色透明)



出演

池田孝彰



有村香澄

(劇団こふく劇場)

濱沙杲宏



三股公演

三股町立文化会館自主文化事業

日時 2/14 (金) 19:00~

2/15 (土) 14:00~

2/16 (日) 14:00~ *受付は開演の1時間前、開場は30分前

会場 三股町立文化会館

宮崎県北諸県郡三股町大字榊山3404-2



チケット 一般前売 2,000円 (当日2,500円)

U25割 1,500円 (前売・当日とも)

やさい割 1,500円 (前売のみ)

ギフトチケット前売 2,500円 (当日3,000円)

高校生以下 無料(要予約)

チケット発売日▷12月17日(火)

チケット取り扱い

・三股町立文化会館

QRコード▷



TEL:0986-51-3462(受付時間 9:00 ~ 17:00) *月曜休館

・チケット予約フォーム <https://www.quartet-online.net/ticket/gingatrain-mimata>

・ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 83772]

主催: 合同会社こふく劇場/三股町・三股町教育委員会

助成: 芸術文化振興基金助成事業



お問い合わせ

劇団こふく劇場 (合同会社こふく劇場)

〒885-0017 宮崎県都城市年見町26号3番地

TEL: 0986-26-6422 E-mail: gekijo@cofuku.com



1990年宮崎県都城市で結成。以降活動を全国へと広げる一方、人口2万5千人の三股町の文化会館のフランチャイズカンパニーとして、地域に根差した活動を行う。また障害者も一俳優として参加する作品づくり(みやざき◎まあるい劇場)をはじめ、質の高さ、活動の社会的な広がり、その両面から高く評価されている。

広島公演

日時 3/8 (土) 14:00~

3/8 (土) 19:00~

3/9 (日) 14:00~ *受付、開場は開演の30分前

会場 山小屋シアター

広島県広島市西区横川町3-12-3アンゴラビル3F

チケット 一般前売 2,500円 (当日3,000円)

U25割 2,000円 (前売・当日とも)

やさい割 2,000円 (前売のみ)

ギフトチケット前売 3,000円 (当日3,500円)

高校生以下 無料(要予約)

チケット発売日▷1月10日(金)

チケット取扱い

・舞台芸術制作室無色透明チケット予約フォーム QRコード▷



・チケット予約フォーム <https://www.quartet-online.net/ticket/gingatrain-hiroshima>

・ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 63109]

主催: 合同会社こふく劇場/一般社団法人舞台芸術制作室無色透明

助成: 芸術文化振興基金助成事業



舞台芸術制作室 無色透明

※日時指定全席自由 ※未就学児入場不可

※U-25割は、公演当日に25歳以下の方が対象となります。(公演当日証明提示)

※やさい割は、ご家庭で収穫された野菜を上演日にご持参くださる方が対象です。

※ギフトチケット: 高校生以下の子ども達が無料で観劇できるよう、その分をおとなが負担する、おとなが子供たちの観劇を支援するチケットを用意しました。劇場が、社会の中でお互いを支えあう事を実感する場となればと願っています。